

社協だより たく



一生懸命学びました



平成二十四年五月十三日
多久市体育センター
AEDと心肺蘇生法
講習の様子

一、〇〇〇人
赤十字救急法実践講習会

非常用炊き出し釜
三台あります。
地区の防災訓練等に
ご利用下さい。

平成23年度 一般会計収支決算報告

平成24年5月29日、理事会・評議員会において、平成23年度事業報告・一般会計収支決算について下記のとおり承認されました。

収入の部

決算額（単位：円）

会費収入	1,470,500
寄附金収入	4,257,475
市補助金収入	13,389,150
県補助金収入	1,808,859
県社協助成金収入	36,000
受託金収入	25,994,436
事業収入	59,330,463
貸付事業等収入	309,000
共同募金配分金収入	1,625,390
介護保険収入	35,988,172
利用料収入	160,400
雑収入	3,922,872
受取利息配当金収入	33,725
経理区分間繰入金収入	13,433,377
その他の収入	12,205,611
前期末支払資金残高	42,483,729
収入計	216,449,159

支出の部

決算額（単位：円）

法人運営事業	36,788,741
地域福祉活動事業	7,757,191
受託事業	67,296,480
居宅介護等事業	63,647,997
資金貸付事業	2,975,200
当期末支払資金残高	37,983,550
支出計	216,449,159

平成24年度

多久市社会福祉協議会事業計画 及び予算 185,467千円

市民の誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進するために、関係機関、各福祉団体と連携し、策定した「地域福祉活動計画」に基づき地域福祉活動の推進や支援に努めます。
また、ホームページと広報を充実させわかりやすい社協を目指します。

法人運営事業

- ◆理事会、評議員会及び委員会等の開催
- ◆役職員研修

福祉資金貸付事業

- ◆生活福祉資金貸付事業（佐賀県社協）
- ◆福祉資金貸付事業（市社協）

居宅介護等事業

- ◆居宅介護支援事業（ケアマネジメント）
- ◆日常生活管理指導員派遣事業
- ◆訪問介護事業
- ◆介護予防訪問介護事業
- ◆障害者自立支援事業
 - ・障害者ホームヘルプサービスの実施
 - ・移動支援
 - ・行動援護
 - ・同行援護
- ◆社協独自事業「在宅サポート事業『さわやか』」

共同募金運動事業、赤十字事業への協力

1. 共同募金運動事業

- ◆一般募金
- ◆歳末たすけあい募金



2. 赤十字事業

- ◆日赤社資募集
- ◆救急法講習会の開催（5月）
- ◆水上安全法講習会の開催（7月）

※九州八県赤十字大会が今年度は佐賀県で開催されます。（11月）

7月は市社会福祉協議会 会費募集月間です

一般会費 200円
一戸あたり

団体会費 3,000円
一口あたり

移送サービス事業（福祉有償運送事業）心配ごと相談事業、社協表彰式、老人福祉事業、子育て支援事業など、地域福祉活動に使われています。

地域福祉活動事業

- ・健康、生きがいづくり事業
- ・在宅介護見舞金支給事業
- ・多久市地域住民グループ支援事業
- ・福祉有償運送事業
- ・各種団体等活動助成事業
- ・障害児交流事業（一日バスハイク）
- ・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）
- ・福祉機器無料貸与事業（ベッド・車椅子・歩行器）
- ・寝たきり老人等寝具クリーニングサービス事業
- ・災害ボランティアに関する事業
- ・ふれあい広場の実施
- ・福祉体験教室、学校ボランティア育成事業
- ・ボランティアの集い
- ・おもちゃ図書館の運営
- ・子育て支援事業
- ・鬼子母神祭の実施
- ・福祉バスの運行管理
- ・小災害見舞金支給事業
- ・心配ごと相談
- 第3水曜日 9：30～15：00
- ・身障相談
- 毎月1日 10：00～15：00
- ・社協だよりの発行（年3回）
- ・社会福祉功労者表彰
- ・民生児童委員活動への協力
- ・多久市シルバー人材センター事業



▲子育て支援事業



▲市老連
ゲートボール大会

指定管理者制度

- ・多久市老人福祉センター（むつみ荘）管理運営
- ・多久市社会福祉会館管理運営

〈新規事業〉

緊急時要援護者 見守り支援事業「まもりん」

在宅の高齢者や体の不自由な人たちに対する緊急時の迅速な対応として、医療・服薬・緊急連絡先などの情報を専用容器に入れ、家庭の冷蔵庫に保管し、万が一の緊急時に備え、見守り活動の充実を図るとともに、高齢者等の安心の確保につなげます。ご希望の方は、地区の民生委員を通して申込んでください。



ステッカー



専用保管容器

問い合わせ 多久市社会福祉協議会 ☎75-3593

多久市民生委員・児童委員連絡協議会総会及び研修会開催

去る5月18日（金）午後より平成24年度の総会が開催されました。
平成23年度の事業報告・収支決算と平成24年度の事業計画・収支予算が原案通り承認されました。

総会終了後は、多久市地域包括支援センターによる「いつでも どこでも だれでも『つながりネットワーク』」についての寸劇もあり、笑いで会場が熱気あふれる研修会でした。



また、小城・多久障害者相談支援センターから事業内容についての説明がありました。

心配ごと相談

第3水曜日 9:30～15:00 多久市社会福祉会館

小城・多久障害者相談支援センター

■利用できる方

小城市、多久市にお住まいの方で、身体障害者、知的障害者、精神障害者の方、および障害児童

■相談方法

電話による相談、自宅へ訪問しての相談、直接センターにおいていただいても結構です。（無料）

■相談内容の例

- ヘルパーなどのサービスを受けたいけど、手続きはどうするの？
- 障害者の手帳を取りたいけど、どんなサービスを受けることができるのかな？
申請には何が必要かな？
- 障害を持つ子どもを養育しているけど、手当てってあるのかな？

お気軽にご相談ください 小城市小城町畑田750番地 小城保健福祉センター「桜楽館」内
☎0952-71-1250 FAX 0952-73-3032 E-mail: o-tsyougai@etude.ocn.ne.jp

「日常生活自立支援事業」 福祉サービス利用援助事業

あんしんサポートのご案内

日常生活に不安をお持ちの高齢者や障がいのある方等が、地域で安心して暮らせるお手伝いをします

利用できる方

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、お金の管理に困っている方。

利用料が必要です

相談や、支援計画をつくるのは無料です。契約を結んだ後の支援については利用料が必要です。



このようなお手伝いをします

- ▶福祉サービスを安心して利用できるように、お手伝いします。
- ▶毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。
- ▶大切な書類や通帳などをお預かりします。

問い合わせ 多久市社会福祉協議会 ☎75-3593

お楽しみ会

みんなで楽しく
ゲームをしました。



詳しくは
☎75-3701
むつみ荘まで

7月の むつみ荘 無料送迎バスの運行日

- 5日(木)** 岸川、四下、立山、前田方面
高木川内、明佐、栄町、番所、
横柴折、筋原、砂原方面
- 12日(木)** 西多久方面
- 24日(火)** 納所方面
- 26日(木)** 多久方面

無料バス送迎日には西多久幡船の里より
新鮮な野菜・団子など多数出店されます。
どうぞご利用下さいませ。

お風呂でゆったりスッキリ！
(午前9：30～午後3：00まで)

むつみ荘での催し物

- 月1回医師による健康相談
- 健康増進にヘルストロン（有料）
- サークル
囲碁、将棋、カラオケ、踊り、リズムダ
ンス、手芸、俳句、詩吟、大正琴など

老人福祉センター

「むつみ荘」
だより



多久市老人クラブ連合会によるボランティア活動 H24.6.1

むつみ荘



きれいになりました
ありがとう
ございました

多久市シルバー人材センターだより おしらせ

5月17日（木）、平成24年度総会を開催しました。平成23年度の事業報告、
24年度の事業計画が原案通り承認されました。

また、総会終了後、メモリアル会館和光の入田潔氏に「お葬式のマナーに
ついて」質務応答をまじえての講演をいただきました。



元気なシルバーさまで
募集中です！

まかせ！
まだまだ
できます！

あなたの技術を
シルバー人材センターで
活かしてみませんか？

<問い合わせ先> 多久市シルバー人材センター ☎75-4787

ケアマネジャーシリーズ

「介護保険」申請から認定まで 要介護認定までの流れ

サービスを利用するためには、介護保険者（佐賀中部広域連合）に申請して「介護や支援が必要である」と認定されることが必要です。サービスを利用するまでの手続きの流れは以下のようになります。

1 要介護（要支援）認定の申請をします

サービスの利用を希望する人は、まず、佐賀中部広域連合や市町の窓口にて認定の申請をしてください。

本人または家族が申請するか、成年後見人、おたっしや本舗（地域包括支援センター）、または省令で定められた指定居宅介護支援事業者や介護保険施設などに申請を代行してもらうこともできます。

申請に必要なもの

- 要介護・要支援認定申請書（申請書は窓口にあります）
 - 介護保険被保険者証（黄色）
 - 健康保険被保険者証
 - （第2号被保険者の場合）印鑑
- 申請書には、主治医の氏名、医療機関名などを記入します。主治医がいない場合は窓口にご相談ください。



2 調査と審査が行われます

認定調査

心身の状況を調べるために、本人と家族などから聞き取り調査をします。



主治医の意見書

医師から介護を必要とする原因疾患などについての記載を受けます。

一次判定

調査票をコンピュータ分析し、要介護状態区分を導き出します。

二次判定

（介護認定審査会）
一次判定結果および訪問調査の結果と医師の意見書をもとに、保健、医療、福祉の専門家が審査します。



3 認定結果をお知らせします

非該当

要支援1

要支援2

要介護1

要介護2

要介護3

要介護4

要介護5

介護予防事業
（地域支援事業）
を利用できます



介護予防サービス
（予防給付）
を利用できます



介護サービス
（介護給付）
を利用できます



※認定結果の通知は、原則として申請から30日以内に佐賀中部広域連合から送られてきます。
（参考資料「介護保険べんり帳」佐賀中部広域連合より）

訪問調査にいつもご協力いただきありがとうございます。

詳しくは、各戸配布されております「べんり帳」をごらん下さい。【問い合わせ先】居宅介護支援事業所 ☎75-3593

私たち社協のさわやかヘルパーです！



一ノ瀬コズエ

むし暑い日が続きます。食中毒予防のためにも調理は分量に気をつけて残らないように作っています。これからも明るく元気にがんばります。



寺田妙子

梅雨で気持ちがはれない時もありますが笑顔でがんばります。調理前には、手やまな板・包丁をよく洗って、清潔にとめています。

「多久市地域福祉活動計画」の策定に係るアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。ここに、ご報告いたします。

住民アンケートの概要

1.調査の目的

多久市民が地域福祉に対し、どのような意見・要望等をもっているかを把握し、地域福祉活動計画に反映させることを目的として実施しました。

2.調査の概要

◎調査対象者

No.1 保育園児の保護者（100人）

No.2 障がい関係（100人）

No.3 高齢者（300人）

No.4 一般（500人）

※No.4については、
市内に居住する20歳以上の人

◎調査方法

No.1 12保育園へ配布

No.2 市内小中学校特別学級、身障協会、手をつなぐ育成会へ配布

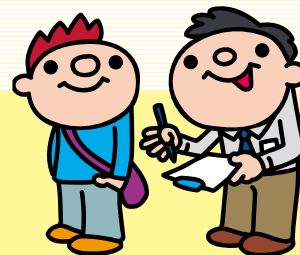
No.3 民生委員児童委員より対象世帯へ配布・回収

No.4 郵送

◎調査時期 平成23年8月1日

3.回収結果

発送件数	1,000
回収枚数	549
回収率	54.90%



内訳

	No. 1 保育園児の保護者	No. 2 障がい関係	No. 3 高齢者	No. 4 一般
発送件数	100	100	300	500
回収枚数	63	41	265	180
回収率	63.00%	41.00%	88.33%	36.00%

社会福祉協議会の事業について、 どのような事業を希望しますか（一部抜粋）

（１）保育園児の保護者

- ①子育てに関して、もっと魅力ある事業をして頂きたい。保育士・教諭経験者の次の次世代ボランティア育成の講座など、ボランティアをどんどん育てて頂きたい。
- ②子どもの預かりサービス、障がい者・高齢者など集えるサークルなど。
- ③育児や障がいに対しての事業を多久市でもっと増やしてほしい。

（２）障がい関係

- ①実際に利用している方などの不満点の改善。利用していない方の理由による対応。様々な情報の提示。話し合いやすい環境をもつ事業を願う。
- ②障がい児を受け入れてくれる子どもクラブ等（外遊び、体験）学校が終わった後や、春休み・夏休み・冬休み等、日中、面倒を見てもらえるような子どもクラブが欲しいです。
- ③ホームヘルプサービス・ガイドヘルプサービスの充実をお願いします。
- ④老人関係、介護保険関係は、良く把握されていると思いますが、障がい者に対する支援・人材が少ないように感じます。充実してもらいたい。

（３）高齢者

- ①高齢化社会が進行するので、介護事業の拡充をと思っている。
- ②独居老人の家の簡単な補修等お願いできたら、助かります。
- ③車の運転ができなくなって、動きがとれなくなってしまった時に、買い物や通院などがスムーズにできるような社会になるような対策をお願いしたい。
- ④協議会職員を充実して、事業拡充を希望する。
- ⑤役所と社協と協力して行ってほしいと思います。
- ⑥災害対策についてわかりやすく教えてください。
- ⑦介護を必要とする人や障がい者だけでなく、中間者の事業を希望します。

- ⑧公民館でお話を聞いたり運動をしたりして、過ごすことのできるサークル的なものを作ってもらえれば楽しいかなと思います。

『情報伝達のよりわかりやすい方法や取り入れてほしい方法があれば書いてください』

（高齢者のみ）

- ①老人会等での説明会を開催したりチラシを配布する。
- ②老人クラブの定例会の日に相談員を派遣してほしい。
- ③社会福祉協議会の方に、地域の公民館などに出向いてもらい、介護保険のことや福祉サービスの利用状況等を説明して頂ければわかりやすいと思います。
- ④ケーブルテレビを通じて詳しく情報を流すこと。併せて文書で高齢者宅へ郵送するなどこまめに対応してほしい。

（４）一般

- ①高齢男性の料理教室。高齢者のパソコン教室を年２～３回。
- ②広報活動をもっと積極的に。
- ③社会福祉協議会についてもっとPRをしてほしいと思います。
- ④日常生活で困っている者への相談になってほしい。
- ⑤ボランティアの人達の力を借り、ひきこもりがちな一人暮らしの老人もそこに行けば、誰かとふれあうことのできる施設があればよい。
- ⑥高齢者や障がいを持った人達が、生活に困らないような環境づくり。
- ⑦相互の助けあい。仕事の無い人達に、短時間でも仕事を分配する仕組み、シルバー人材の年令の幅と仕事の内容の検討。
- ⑧地域へ出て行く。各地区の公民館などへ出張して、啓発・相談・ボランティア作業などを行う。来局ではなく、出前講座もよい。

H24.5.27 佐賀県防災訓練 多久公民館にて

～ボランティアによる災害食訓練～



新規採用

4月から常勤ヘルパーとして勤務しています。毎日が勉強の連続で、日々がんばっています。



古賀祐子

4月から老人福祉センター「むつみ荘」で勤務しています。どうぞよろしくお願いします。



小林隆成

登録ヘルパー募集

募集人数 若干名
資格 ホームヘルパー 2級以上
 若しくは看護師、普通自動車免許
仕事内容 訪問介護
就業時間 週 20 時間以下
問い合わせ先 多久市社会福祉協議会
 ☎ 75 - 3593

お知らせ

水上安全法講習会

日時 平成24年 7月14日(土)
場所 緑が丘小学校

平成24年度

参加者募集

ボランティア体験スクール

参加対象 小学4年生から6年生 (25名)

8月9日(木)

- ・手話をおぼえよう
- ・救助犬について

8月10日(金)

- ・施設研修(やすらぎ訪問)
- ・赤十字について
- ・高齢者疑似体験

手話をおぼえよう



救助犬



高齢者疑似体験



問い合わせ先 多久市社会福祉協議会 (☎ 75 - 3593)

ご寄附ありがとうございました

(自…平成二十四年二月一日
 至…平成二十四年五月三十一日) 順不同・敬称略
 社会福祉事業のために次の方がたからご寄附いただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

◎香典返し寄附

東多久町 〈平林〉 田淵勝昭、野方正夫 〈北坊〉 田淵フミエ 〈松瀬〉 松本芳江 〈古賀一区〉 古賀豪 〈古賀三区〉 最所和泉 〈別府一区〉 山口陽子、桃崎意兼 〈別府二区〉 松瀬豊、中野カズ子、山元正人、岸川義範 〈別府三区〉 直江道子 〈羽佐間〉 武富京子 〈石原〉 古賀豊子 〈宝蔵寺〉 小池シヅエ 〈平和町〉 伊東正直 〈池ノ平〉 江口秋則 〈古賀山〉 宮下義夫 〈両子〉 徳永笑子
南多久町 〈井上〉 中山一明 〈駄道・天ヶ瀬〉 土橋哲也 〈瓦川内〉 中島寛 〈西ノ谷〉 笹川伸子、大坪房子 〈庄〉 飯盛孝 〈中小路〉 大坪和秀 〈牟田辺〉 北島ケサノ、鷺崎斎利、森永久美子 〈桐野〉 東島齊宮 〈笹原〉 七田文雄 〈大野〉 岸川和弘
多久町 〈下鶴〉 中島國博 〈西の原〉 毛利節子、坪上忠直 〈西町〉 若林孝、副島健三 〈撰分〉 寶藏寺武志 〈宮ノ浦〉 小林レイ子、井上美弘 〈明治佐賀〉 立部一廣、大山春日、田中忠博、林小夜美、朝倉マサ子
西多久町 〈藤川内上〉 藤川一海、川浪経一 〈宿〉 柴田康徳 〈船山〉 久保功 〈駄地〉 渡辺卓男 〈吉の尾〉 木崎博文
北多久町 〈大工田〉 井上トメノ 〈松ヶ浦〉 藤山正雄 〈岸川〉 岸川都子 〈多久原〉 古賀泰治、今泉三生、川浪和巳 〈中の原〉 中島信幸、田中一嘉、福田豊子 〈山犬原〉 岩崎静枝、永松久子、小川清春 〈筋原〉 南里千津子 〈高木川内〉 原久代 〈立山〉 小川和美 〈中多久一区〉 高鍋正治、高鍋はるみ 〈中多久二区〉 園田郁典、石田フジエ 〈浦山〉 馬場保昌、田内芳子、志岐貞子、二重隆男 〈砂原〉 横尾貞男、今泉由紀子 〈泉町〉 宮本文枝
市外 飯盛眞紀子、佐藤ひで子、横山菜美、稲葉和英、石丸輝資、丸濱トミ子

◎その他の寄附

〔円城寺厳〕 切手

◆発行所 多久市社会福祉協議会 (☎ 75 - 3593)
 多久市北多久町大字小侍45-31

